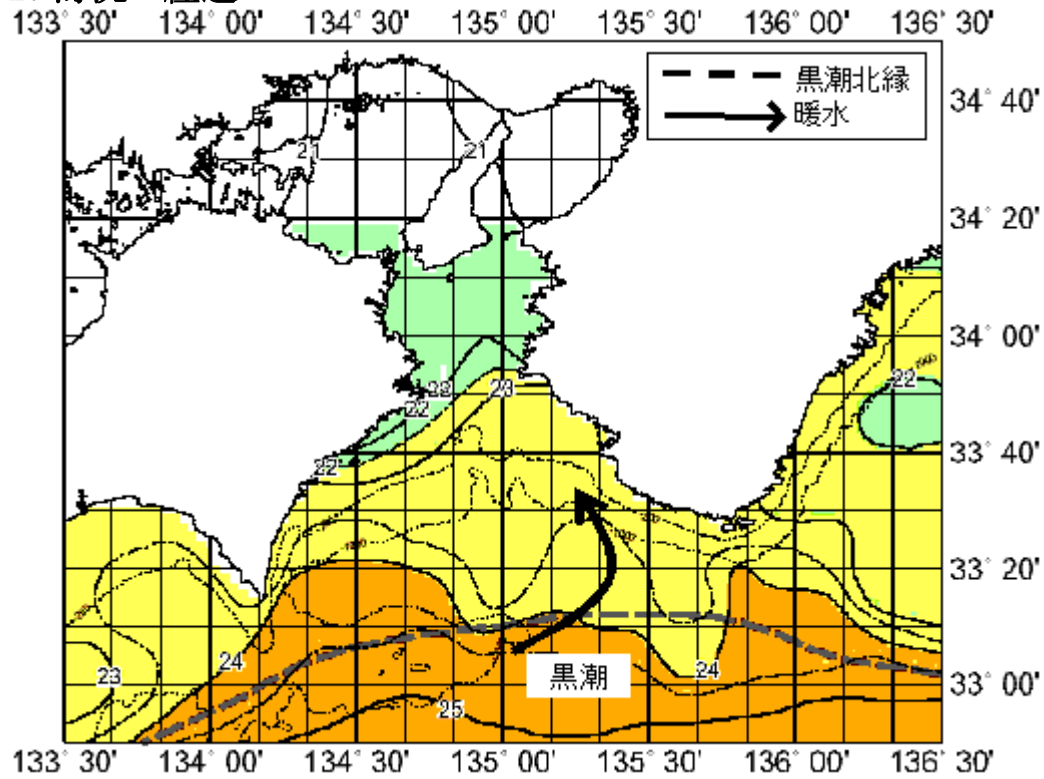


1. 海況の経過

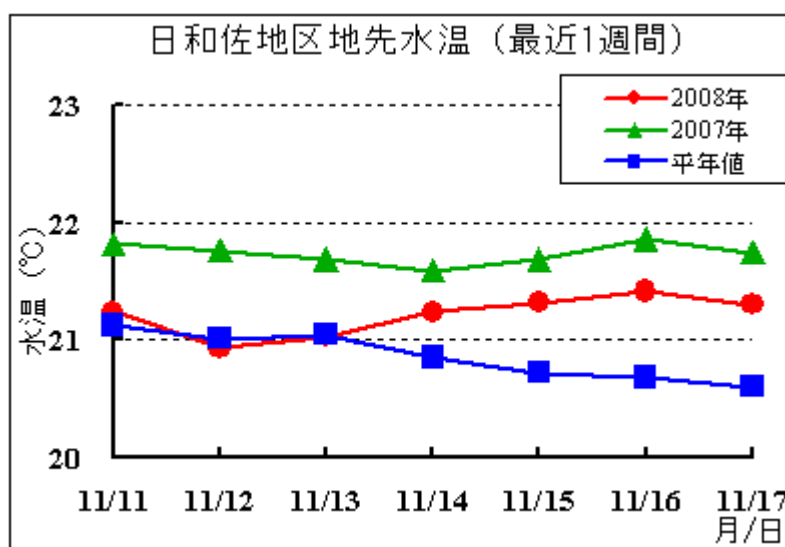
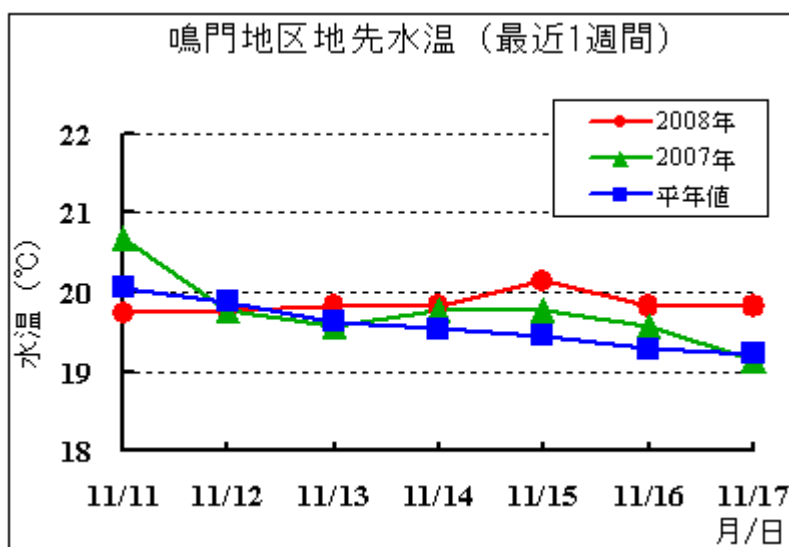


海況 上に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県および和歌山県が共同で作成した海況図(H20.11.17)を示した。

黒潮は室戸岬沖・潮岬沖で接岸している。黒潮本流の表面水温は24～25℃台である。
 表面水温は播磨灘・紀伊水道が21℃台、外域が21～23℃台である。
 紀伊水道外域は、先週に引き続き、和歌山県側から反時計回りに暖水が波及している。
 海部沿岸上灘沿岸では、濁りのある内海系水が南下してきている。

地先水温

最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「平年並み」～「やや高め」の19.7～20.1℃、日和佐地区は「平年並み」～「やや高め」の20.9～21.4℃、牟岐地区は「やや低め」～「やや高め」の19.7～20.1℃で推移した。



2. 漁況の経過

延縄:海部沿岸で、中主体にアマダイが0.2トン(1日1隻あたり14kg)、大主体にサバフグが0.2トン(同30kg)水揚げされた。

小型定置網:海部沿岸で、小主体にアイゴが0.2トン(同30kg)、アオリイカが1.2トン(同29kg)、中・小主体にタチウオが1.8トン(同79kg)、メジナが1.2トン(同233kg)水揚げされた。

大型定置網:海部沿岸で、中主体にアオリイカが0.6トン(同99kg)、中主体にカンパチが0.5トン(同97kg)、小小主体にタチウオが1.1トン(同215kg)、マルソウダが1.5トン(303kg)、中主体にメジナが0.3トン(同95kg)水揚げされた。

釣り:海部沿岸で、アオリイカが1.2トン(同14kg)、中・小主体にカツオが0.4トン(同61kg)、小主体にキハダが1.3トン(同253kg)、小主体にタチウオが3.7トン(同56kg)、ハマチが11.8トン(同62kg)、紀伊水道で、大・中主体にサワラが0.5トン(同16kg)水揚げされた。

パッチ網:紀伊水道で、シラスが4.9トン(同75kg)水揚げされた。

漁業種類別漁獲量集計表(抜粋) 11月10日～11月16日 県下6漁協からの聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	アマダイ	17	242	14	中主体
		サバフグ	8	236	30	大主体
小型定置網		アイゴ	7	209	30	小主体
		アオリイカ	40	1,155	29	
		タチウオ	23	1,815	79	中・小主体
		メジナ	5	1,164	233	
		アオリイカ	6	591	99	中主体
大型定置網		カンパチ	5	484	97	中主体
		タチウオ	5	1,076	215	小小主体
		マルソウダ	5	1,517	303	
		メジナ	3	285	95	中主体
釣り		アオリイカ	82	1,162	14	
	カツオ	6	365	61	中・小主体	
	キハダ	5	1,263	253	小主体	
	タチウオ	67	3,745	56	小主体	
	ハマチ	189	11,811	62		
	紀伊水道	サワラ	32	518	16	大・中主体
パッチ網	シラス	65	4,875	75		

特異事項:

漁業調査船「とくしま」が行った紀伊水道のクラゲ目視調査の結果、紀伊水道でクラゲを確認できなかった。播磨灘・紀伊水道では夜光虫が発生している。

週間予報:

黒潮は、室戸岬は接岸からやや離岸、潮岬は接岸で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先で「やや高め」の19℃台、日和佐地先で「平年並み」の20℃台で推移する見込み。

*水温偏差の目安

平年並み:±0.49以下, やや高め(やや低め):±0.50~1.49, 高め(低め):±1.50~2.49, かなり高め(かなり低め):±2.50以上